

みかたを変えると世界が変わる ～みて・ふれて・わかる身近なサイエンス～

「みかたを変えると世界が変わる」って、ほんと？
この講座では、身近だけれどふだんあまり気にしていないモノやコトにスポットライトを当て、自然科学の目線で「みる」面白さを体験します。ぼやけた画像がはっきりしていくしくみ、同じ長さのはずなのに違って見える図形、触ると不思議な感触のやわらかい物質、そして星の光に隠された情報—。
講義だけでなく、簡単な実験やデモンストレーションも行いながら、「なぜそう見えるのか」「どうしてわかるのか」を一緒に考えていきます。

第1回 6/20 (土)

デジタルでみる、画像のしくみ ～見え方を変える技術～

菅原 研 データサイエンス学科教授

画像はどのようにできている？ デジタルのしくみを通して、「見える」を支える工夫と仕組みをひも解きます。

第2回 6/27 (土)

錯視でみる、視覚の世界 ～目はどこまで正しい？～

牧野 悌也 データサイエンス学科教授

目はどこまで正しく見えている？ 錯視を体験しながら、人の視覚のしくみと「見え方の不思議」に迫ります。

第3回 7/11 (土)

ふれてみる、やわらかさのしくみ ～その感触はどこから来る？～

土原 和子 データサイエンス学科教授

このやわらかさの正体は？ 実際に触れて感じながら、見えない構造が生み出す性質を探ります。

第4回 7/18 (土)

光でみる、星の世界 ～見えない情報を読む～

村上 弘志 データサイエンス学科教授

星の光から何がわかる？ 見えない情報を読み取り、宇宙の姿を知る方法を紹介します。

- ▶会場：五橋キャンパス シュネーダー記念館1F 未来の扉センター
(地下鉄南北線五橋駅南2出入口直結)
- ▶時間：13:30～15:00 (受付開始 13:15)
- ▶対象：目安：高校生以上 (ですが小中学生も歓迎！)



お申し込みはこちら
(各回前々日16時まで)

